



様々な障害をかかえた人の生活を  
心を通わせながらサポートをする仕事です

障害者支援施設での  
介護福祉士って、どんな仕事？



障害のある人の日常生活や社会活動を支援する仕事だよ。利用者の年齢が幅広いから、介護だけでなく自立に向けたサポートもするワン!

Q. 目指したきっかけはなんですか？

子どものころ、おばあちゃん子だったというのもあり、「高齢者のお世話をする仕事っていいなあ」と思い、介護福祉士を目指して福祉科のある高校に進学しました。そこで勉強や実習をがんばって、介護福祉士の国家資格を取得。実習でお世話になったことがきっかけとなり、現在の施設へ就職しました。

Q. この仕事の魅力や  
やりがいがありますか？

この施設は障害者支援施設なので、18歳～高齢の方まで、様々な障害をかかえた利用者さんのケアをしています。最初は利用者さんの気持ちがくみ取れず、迷ったりもどかしさを感じることがありましたが、長く接しているうちにお互いに絆のようなものが生まれ、逆に励まされることもあるし、日中の活動や行事の後などに「楽しかった」と言ってもらえたときや生き生きとした表情や様子が見られたときは、すごくうれしくなります。

「障害のある方への支援」と言うと、大変そうだとか難しそうだとおぼろげですが、やりがいのあるとても大切な仕事だと誇りを持っています。



利用者さんの笑顔や喜んでもらえることが励みになります！



介護福祉士  
高橋 紫乃さん

高橋さんの1日の仕事の流れ

8:00	出勤 職員ミーティング 利用者送迎開始・受け入れ 検温・排泄介助
10:00	日中活動支援・創作活動・委託作業 排泄介助・健康確認
11:30	昼食介助 利用者口腔ケア介助・排泄介助
13:00	日中活動支援・創作活動・委託作業 排泄介助・健康確認
14:30	利用者帰宅準備
15:00	送迎送り出し 職員打ち合わせ
16:30	退勤

みんなの笑顔がパワーに！



大変な面もあるけれど、自分のことを気にかけてくれる利用者さんのやさしい一言に救われたりすることも多いと話す高橋さん。目に見えないけれど、人とのつながりで心が温かくなる仕事です。

施設の方から一言！

大変な仕事と思われがちですが、利用者さんに寄り添い、笑ったり、泣いたり日々の活動のなかでいつのまにか人間として成長できている自分を確認することができる仕事です。利用者さんから心のパワーをいただき、それを糧(かて)に仕事ができる素敵な職場です。



管理者 嵯峨 美貴子さん▶

MEMO

高校で介護福祉士の国家資格を取得して、地元で施設で働きはじめた高橋さん。最初はとまどいの連続だったけど、利用者さんと接するうちに、自分も成長できたと言っていたのが印象的でした。障害者施設の介護って大変そうというイメージでしたが、利用者さんの笑顔も、それを見守る介護福祉士さんも幸せそうでした。

特別養護老人ホームで働いている介護福祉士さんのインタビューも読めるワン!